

色を聴く、色に触れる — 知覚の多様性 — 2023.10.6 fri → 2024.3.29 fri

この企画展では、「色を聴く、色に触れる」と題し、人間の知覚の多様性をご紹介します。私たちの周りには、青い空、白い雲、緑の木々、といったように様々な色の世界が広がっていますが、必ずしも色だけでなく、音や手触りなど、全身を使ってこの世界を感じ取っています。例えば、雨の日のことを思い出してみてください。どんよりとした曇り空と雨の降っている光景だけでなく、雨音、肌に雨粒が落ちる感触、地面が濡れた匂いなど、全身で雨の日を感じとっていませんか？ 私たちは、言わば全身を使ってこの世界を「みて」いるのです。この企画展では、人間がどのように色や音、手触りなどを感じ取っているのか、そして色の見え方の多様性や、共感覚と呼ばれる一部の人が持つ知覚の世界などについて解説します。さらに、色や音、手触りを多様な形で感じとっていただける様々な体験型コンテンツの展示を通じて、人間が持つ感覚・知覚の面白さをご紹介します。

本展ディレクター 中島 武三志 (芸術学部インタラクティブメディア学科助教)

1 色を感じる仕組み

人間の目が色をとらえて認識する仕組みや、色の見え方の多様性について解説します。



色覚多様性の世界 / 吉田 穂乃花、中島 武三志

2 音が聞こえる仕組み

人間の耳が音をとりえて認識するしくみや音の三要素、音が人の心に及ぼす影響について紹介します。



音の波形を見る / 中島 武三志

3 触れる感覚のいろいろ

触れる感覚の様々な分類について紹介します。



いろんな触感 / 中島 武三志

4 感覚同士のつながり

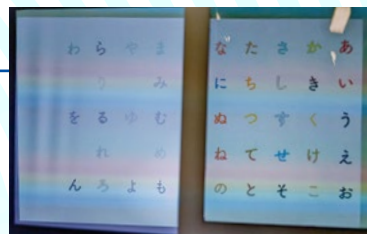
色と音、色と触感など、感覚と感覚同士のつながりや相互作用について紹介します。



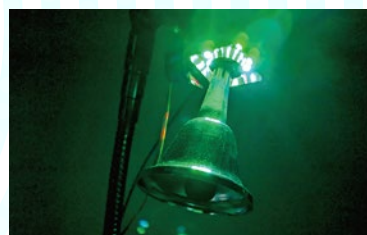
色を聴く / 北島 圭吾、瀧澤 黎士、中島 武三志

5 色を感じる共感覚

字を見ると色が見えたり、音を聞くと色が見えたりするような、ごく一部の人が持っている感覚は共感覚と呼ばれます。ここでは一般の人にとってイメージすることの難しい共感覚の世界をご紹介します。



色字共感覚の世界 / 猪股 瑛仁、中島 武三志



鈴灯り / 中島 武三志

カラボギャラリー・アーカイブ「色を記録する展」

六櫻社式天然色印画とそのネガフィルム コニカラー映画システム

小西六本店の製造部門、六櫻社の技師長で本学創立時の理事でもあった江頭春樹が研究開発した我が国初の天然色印画法を知ることは、小西六と関係の深い東京工芸大学の建学の精神への理解を深めるものであり、カラボギャラリー第10回企画展として開催されたものを再展示するものです。

矢島 仁 (芸術学部映像学科准教授)



cololab
gallery
カラボギャラリー

- 開館時間：月曜日～金曜日 12:00～17:00 【入場無料】
- 休館日：土曜日・日曜日・祝日 (※臨時開館閉館あり。HPでご確認ください。)
- 会場：東京工芸大学 厚木キャンパス 12号館 2階 カラボギャラリー
〒243-0297 神奈川県厚木市飯山南5-45-1 TEL:046-242-4111
<https://collab.t-kougei.ac.jp/gallery/>
- 主催：東京工芸大学 色の国際科学芸術研究センター
- 展覧会アートディレクション：Sadatomo Kawamura Design
- 施工：株式会社O.D.A



小田急線「本厚木駅」からバス20分
(厚木バスセンター 7番乗り場「東京工芸大学」行き)